

平成 30 年度社会教育委員等研修会報告

新潟市社会教育委員 山田久美子

日時 : 平成 30 年 6 月 22 日 (金) 10 時 30 分 ~ 15 時 30 分

会場 : 長岡市中央公民館 (長岡市幸町 2-1-1)

【研修 I】

講義 (10:30~12:00)

テーマ:「社教委員の役割と全国大会招致の意義」

講師:前(一社)全国社会教育委員連合常務理事 坂本登氏

主な内容:

- ・社会教育委員連合組織の設立の歴史と全国大会の経緯、大会招致の意義
- ・社会教育委員制度、特徴、役割と活動
- ・社会教育の原理、有用性、各地の活動事例、活性化に向けて

【研修 II】

①事例発表 (13:05~13:30)

テーマ:「出雲崎町の社会教育について」

発表者:出雲崎町社会教育委員長 磯部友記雄氏

主な内容:

- ・社会教育委員の状況
- ・社会教育事業の紹介
 - ⇒ 東京芸大生による街並みスケッチと子どもたちへの指導
 - 小中学生が 9 年間かけて良寛の人柄や考え方を学ぶ郷土学習「良寛学習」
 - 出雲崎総合大学、文化スポーツ団体の活動

②ワークショップ (13:40~15:25)

テーマ:「どんな全国大会を新潟から発信できるのか」

主な内容:

- ・ワールドカフェ方式で、全国大会への期待、大会テーマ等について意見交換した
- ・日常の活動に話題が展開し、燕市の委員さんの活動事例が参考になった。病院で、子どもたちのスマホの使用に注意を促す「スマホの時間、わたしは何を失う」という日本医師会作成のポスターを見た委員さんは、このポスターは学校にも貼るべきだと事務局に提言した。事務局は日本医師会に連絡を取って 100 枚送ってもらい、学校だけではなく公共施設にも貼ることができたとのこと。日頃から問題意識を持つことと、行動力が大切と感じた。

【全体の感想】

メインテーマは全国大会の開催に関するもので、行政と委員のコラボレーションが大会成功の鍵とのことだが、委員になったばかりでまだピンとこないというのが正直な感想。ワークショップで新潟市の活動状況について問われたがきちんと答えられず、勉強不足を痛感した。